

4年前の約束とその検証

1, 議会改革と行政改革

- 政務活動費の全面公開
 - ↳ 政務活動費の透明性を高め、1円から公開しました。費用弁償は、実費支給としました。
- 県が行う全ての事業(約3,500件)の見直しを実施、ムダを省く。
 - ↳ 組織再編や事務事業の廃止、縮減等を行い、平成23年度~26年度で約290億円の削減ができました。
- 審議会、委員会の必要性と人数、日当の見直しを進める。
 - ↳ 進捗なし。

- 県の所有する97施設の民営化、市町への移管、廃止を含めた検討。
 - ↳ 民間委託(37施設)、PFI事業化(6施設)、廃止(25施設)また、県所有施設にネーミングライツの導入や、未利用地を貸与、売却し、民間利用を徹底。これらの効果は4年間で約87億円です。
- 議員提案で、生活が向上する条例を制定する。
 - ↳ ①「がん対策推進」②「歯と口の健康づくり」③「議会基本」④「子どもを虐待から守る」条例をつくり、①②③では、プロジェクトチームの一員になり条例づくりに参画しました。

2, 雇用と経済

- 飛行機づくりなどの企業誘致で新しい雇用づくりと犬山の経済向上を推進する。41号沿線の新しいまちづくりを考えていく。
 - ↳ 愛知県企業庁と調整中。41号沿線上への企業誘致に向け説明会を開催。また、41号については、6車線化が決定し、今年度から事業化されました。愛知県は全事業の97億円のうち約1/3を出資し、犬山の新しいまちづくりをサポートしていきます。
- 若者の就業を全面支援。(就業相談や雇用の場の創出)
 - ↳ 4年前比で、大学短大高校卒の就職率が向上。毎年100社が参加する合同就職説明会を県と開催。

- 今井パイロット(30万坪)の再生
 - ↳ 耕作放棄地対策として、平成25年に「国内外の需要拡大」、「農林水産物の付加価値向上」、「生産現場の強化」、「多面的機能の維持発揮」の4本柱となる農林水産業地域の活力創造プランを策定しました。今井パイロットで活かすことができるように考えを深めていきます。
- 中小企業への全面支援を強化する。
 - ↳ 資金面からは、「小規模企業等振興基金」、「創業等支援基金」、「サポート資金」に融資期間10年を新設。「中小企業振興基本条例」を制定。

3, 医療と福祉

- 医師と看護師の確保。
 - ↳ 県内で診療制限をしている病院は約20%と、4年前比で横ばい(322病院中、66病院)。地元あいちで勤務する地域枠学生が3医学大学で69名。うち最上級生が6年生となり、卒業後は愛知県内で勤務することとなります。看護師確保策は、院内保育所の設備や離職防止復職支援として、短時間正規職員制度を支援。
- がん医療と緩和ケアを充実。
 - ↳ 県内で新たにがんと診断される方は、毎年3万人以上。議員提案で制定した「がん対策推進条例」もふまえ3つの対策を提案してきました。①女性特有のがん対策。②働く世代へのがん対策。③若者家族へのピアサポート。

- 一人暮らしや高齢者世帯を見守る体制設備。
 - ↳ 犬山の一人暮らし高齢者/1,840人(4年前/1,347人)
犬山の高齢者世帯/4,621世帯(4年前/2,700世帯)
今後ますます高齢化が進む中、介護サービスの充実や認知症支援対策、介護予防と生きがい対策、生活支援地域包括ケアシステムを支える人材の確保と資質の向上を進めてきました。
- 特別養護老人ホームの設備。
 - ↳ 犬山市内2施設で各200人以上の待機者がある中、平成27年に100床の特別養護老人ホームが新設されました。
- 障がい者の就労支援を充実する。
 - ↳ まだ、目ざましい成果はなく、充実に努めます。

4, 教育と子育て

- 総合型地域スポーツクラブの創設支援。
 - ↳ このスポーツクラブは、幅広い世代の人々が、日頃生活している地域の中で、それぞれの興味や関心、競技レベルを合わせ、いつでも、いつまでも様々なスポーツに触れる機会を提供するクラブです。県の設定準備支援を受け、犬山市で開設されました。
- 放課後教室の実施。
 - ↳ 放課後児童クラブへのサポート拡大。犬山市では、来年度から児童センターの受け入れが4年生まで拡大されます。(希望があれば、5・6年生もOK)

- いじめ、不登校への対策。
 - ↳ 県立学校でいじめ防止対策を実行的に行うため「愛知県いじめ問題対策委員会」を設置し、また、いじめによる重大事態に関わる調査の結果について必要に応じた調査を行う「愛知県いじめ問題調査委員会」を設置するため、いじめ問題調査委員会条例を制定しました。スクールカウンセラーの配置拡大も進めました。
- 特別支援教育の充実。
 - ↳ 過大解消のため稲沢特別支援学校を新設しました。スクールバスを増車しました。

5, まちづくり

- 「安全」を実感できる犬山づくり
 - ↳ 犯罪件数が22万5千件のピークから、2015年には目標であった10万件に半減しました。防犯カメラの設置を進めてきました。交通死亡事故や住宅侵入盗、振込め詐欺等を減らすため、さらに強化を進めていきます。
- NPO法人やボランティアと協働を図り、自立できる体制づくり。
 - ↳ 4年間で県との協働件数をさらに71件にまで増やしました。委託補助額は5億7,000万円に拡大。(平成21年/3.1億円)

- 犬山が誇る歴史的資産を活用した観光の推進。
 - ↳ 武将観光やインバウンド誘致を推進しました。来年度、「観光局」を新設し、車山日本一、からくり日本一を目指し、「あいち車山活性化事業」に取り組みます。
- 1人あたり500円の「森と緑づくり税」を犬山で大いに活用。
 - ↳ 里山林の整備や学校での緑のカーテン事業、さらには子ども未来園等の芝生化でも「森と緑づくり税」が活用されました。